

低温工学・超電導学会九州・西日本支部主催

2022 年度第 2 回 外国人著名研究者による特別講演会

直前のご案内で恐縮ですが、かつて九州大学の電気システム工学部門超伝導寄附講座に所属されていた、露ケーブル科学技術開発研究所前所長で現在科学アドバイザーを務められている Vitaly Vysotsky 先生が丁度来日中ですので、超伝導大規模システム応用についてご講演頂ける事となりました。液体水素と超伝導技術のシナジー効果による、電力ネットワークや航空機応用などの低炭素化技術、また、超高磁場 NMR や液体ヘリウムフリーMRI 応用など医療・バイオ計測への応用について、これまでの開発の経緯と今後のトレンドについて初学者にも分かり易くご紹介頂きます。特に、最近欧州で開始されている超伝導直流電力ケーブルや限流器など実用化を見据えた技術について、最新の情報をお伺いできると思います。皆様のご参加をお待ちします。

なお、オンラインでのご参加も可能です（事前登録必要）。

講演題目：Large scale applications of superconductivity almost 112 years after its discovery: Successes and trends

講師：Prof. Vitaly Vysotsky (Dept. in the Russian Scientific R&D Cable Institute, Russia)

日時：2023 年 1 月 6 日（金）14:30～16:00

場所：九州大学超伝導システム科学研究センター（1 階会議室）+ オンライン (Zoom)

参加費：無料

共催：応用物理学会九州支部

協賛：九州大学超伝導システム科学研究センター

参加申込先：[申し込みフォーム](https://forms.gle/ef1BPogjbBghFaUTA) (https://forms.gle/ef1BPogjbBghFaUTA)

申込締切：2023 年 1 月 5 日（木）17:00

問い合わせ先：木須 隆暢（九州大学）kiss(at)sc.kyushu-u.ac.jp